ふるすこあ

発行責任者
鳥井宏晏
東京都文京区千石
1－1－9
編集責任者
森宮延佳
平方朝彦

あけまして
おめでとうございます

名誉会長　佐藤力男
会長　鳥井宏晏
副会長　前田敏晴
参与　高橋寿
幹事長　森宮延佳
副幹事長　小野博美
事務局長　小林将夫
会計　柴戸英一
会計監査　鈴木康友
年度代表幹事　一同

昭和四十八年　元旦

会長挨拶

鳥井宏晏

ＯＢ諸兄におかれましては輝かしい新年をお迎えのことと心からおよろこび申しあげます。

私しども日本大学吹奏楽研究会ＯＢ会も、昨年再発足し第一歩をあゆみだしました。

ＯＢ会に寄せられる期待や要望を考えますと、その責務の重さを痛感いたします。

役員、幹事一同、現役のブラスに負けないようＯＢ会の発展のため頑張る覚悟でおります。本年もどうぞよろしくお願い致します。

本物になる努力

名誉会長　佐藤力男

日本大学吹奏楽研究会ができてから、かれこれ二〇年近くなる。

卒業生も四〇才台から二〇才台と巾も広くなつた。私は、ここ三～四年は別として、学生時代の一番厳しい演奏旅行で寝食を共にできたので、殆んどの卒業生の性格分析は可能であると思う。

唯単に、練習場や演奏会の場だけでは、爵間的に自分を美しく飾つて見せる人もいる。

然し、一ケ月間も日程のぎつしりつまつた演奏旅行では、決つして自分を偽りつづけることは出来ないものである。

偽り通せたとしたらその人はもう本物になつたのである。そういう人は一年生のとき、他人の良いところを手本にして、二年生、三年生と次第に成長するに従つて、本物に近ずき、幹部になつたころには、それが、しつかりと自分のものになつているものである。

人間の身長が、ある程度まで伸びるのは、よく二五才の朝飯前までだと聞かされたが、人間的な生長は一生である。

「男の顔は、その人の履歴書である」と大宅壮一氏が言つていたが、人間の充実した顔は美しいものである。健康であり仕事に対しての生甲斐をもち、更に家庭が円満な人は、顔を見ればすぐにわかるものである。

卒業生が来たとき、私は、たいてい次の質問をする。

健康状態は顔を見ればわかる。それで奥さんや子供のことを尋ねる。

そのあと仕事のことについて尋ねる。

仕事のことも、その人がサラリーマンなら、自分が、その会社の何んなのかであり、会社の資本金から従業員の数までも聞く。具体的な仕事の内容も尋ねて、そこに内在する問題意識も引き出すことに努めてみる。

そんなとき形式的な返答であれば、その卒業生に魅力を感じないし、無知な人には、成長の停止を感ずる。

家業の後継者や、個人営業の人でも、論点はやはり、そのような内容で尋ねてゆく。

ゴルフやボーリングのスコアーや、麻雀、競馬の稼ぎ高は酒でも飲んだときの話題であつて、活の魅力は感じない。

唯、会話の展開に必要な潤滑油の意味で導入する場合もある。

又、友人関係について尋ねることもあるが、これは卒業後、どのような交友関係を開拓しているかに興味をもつたときである。

そのためにも、私しは不断に本を読んで勉強させて貰い、又、そのときどきの会話から本などでは得られない実戦の勉強もさせて貰つているつもりである。

こんなことをバクロすると、もう誰も私のところに寄りつかなくなるかもしれない。

会えない人はそれでよいのである。渡辺君や鈴木君など、こちらから行つても会えない人になつたし、日本には一億人の人もいる。外国にも人はいるのである。

卒業生にお願いしたいことがある。新入生歓迎会、定期演奏会、納会に顔を見せて貰いたいということである。

現役という私の立場から申し上げれば、この三つの会合には、それぞれの意義があり、ＯＢが来ても、会費以上に、その価値を持つて帰ることのできる場である。

もし、これが焼鳥一本に換算されるならば心外である。このような場で立派に振る舞うことができる人こそ将来大物になる人であると思う。

多くの事業家や大人物は、どんな小さな会合からも価値を持ち帰つているものである。

ＯＢバンド結成へ

ＯＢ懇話会報告

去る十二月二十一日、現役の四七年度納会の終了後、鳥井会長宅でＯＢ懇談会が行なわれた。

ＯＢ会の今後の運営、現役指導等について深更まで討議の形となつたが以下要点を個条書に報告する。

(1) ＯＢバンド結成によつてＯＢ相互の親睦を計り、創立二十周年記念行事の主役に成長させる。
吹奏楽コンクール出場、そして優勝を目指す。現役を鼓舞する。

(2) 現役指導について
1. 定演の選曲問題
定演の性格と学生バンドの本質との関係。
「日本大学吹奏楽部」の〝音〟があるか、あるいはあるべきか
従つてブラスオリジナルかオーケストラナンバーかの二者択一に帰するか否か。
定演と研究発表会とを持つた方が良いか。
客層と選曲との関係は適切か。
2. ステージドリルについて
現状では低迷感があり、時代の進展に伴なわない。マンネリ気味である。
ベーシックパターンを数体型完全にマスターし、その上に立つてバリエーションを組み合わせる方式を確立すべきである。
3. ＯＢ会再発足後の運営について
まず会費の納入は会員の責務として励行して欲しい。
また日が浅いので会報の発行だけのようだが、順次行事を定着させて行く。
今は会員ができるだけ参加できるようにどんどん予定を組んだ方がよい。
現役の行事との交流の中でＯＢ間の交流を計るよう、特に新入生歓迎会、定演、納会の三回は出来るだけ参加するようにしたい。
以上のような内容で色々と意見が出されたが、今後、事務局を中心に会の運営に具体化され、会員諸氏に連絡されると思うので、積極的に参加されるよう呼びかけて報告を結ぶ。

文責　37卒　土岐悦康

会費納入のお願い

事務局

前号でお知らせしました通り、会費の納入を銀行を通じて受付けておりますが、一月一九日現在で四十四名の方が振込まれ会員の登録をいたしました。在京のＯＢの納入が少ないのですが、いつでも払えるという感じを持つていると思いますが直接でも、振込でも結構ですのでよろしく御協力下さい。

尚、卒業年度別の払込の現状は次の通りです。

30年卒	0	31年卒	1	32年卒	1	33年卒	2	34年卒	0	35年卒	2	36年卒	2	37年卒	2	38年卒	7	39年卒	1	40年卒	5	41年卒	4	42年卒	5	43年卒	5	44年卒	3	45年卒	3	46年卒	1

告知板

☆スナック〝あるふあ〟開店

佐藤江治氏（43年度卒）のスナックが10月2日開店しました。

仙台駅から10分位の銀行街の中にある店で、ニッカのボトルが沢山置いてありナカナカのよう。

お姉さんと、マスター（佐藤）と他二人で、ヒマな時は有線をやめてシヨスタコビッチの五番を流しているとか……。

出張の折りにでも寄られては如何……。

仙台市国分町一一六一八
徳陽相互銀行
事務センター地下
電話（六三）一八四五番

☆ごめんなさい

会報五号の中でスコッツガーズ来日を、アイリツシユガーズ来日に訂正。

ブラバン雀の18行目を外国に渡り鳥るのもいる、36行目をワンダーフオーげるのさま　…に訂正。

関係者の方に御迷惑をおかけしました。訂正してお詫びいたします。

謹賀新年

今年こそ……と張り切つてみたものの、どうも無理のような感じ。

のーんびり行こおーよどーこーまでも……会報は原稿がないと出せないのです。頭の原稿と最後にもらつた原稿の間があきすぎて二年越になつてしまい〝苦労シマシタ〟もう少し新鮮な「ふるすこあ」にしたいです。